

第4回地域会議議事録

1、日 時 平成28年2月14日（日）13：30～15：25

2、場 所 久寺家近隣センター 会議室

3、出席者

【久寺家地区自治会・町会】2名

久寺家三菱自治会長代理、久寺家二丁目自治会長

【久寺家地区民生・児童委員】4名

【久寺家地区子供会】5名

久寺家子供会代表、久寺家マンション子供会代表、

三菱子供会代表、担当、久寺家二丁目子供会担当

【みんなの広場「風」】1名

理事長

【久寺家地区まちづくり協議会（以下、まち協と云う）】8名

会長、副会長、副会長、総務部長、企画部長、

施設管理部長、広報部長、総務部副部長

【地域会議事務局】2名

【我孫子市市民活動支援課】1名

4、議 事

出席者の自己紹介、まち協会長の開会の挨拶の後、以下通り議事が進められた。

(1) 27年度課題の活動・進捗状況について（まち協会長）

① よりみちサロン「風」の活用状況

昨年3月4日開業以来、毎月8日間（水・金）の営業で月240名前後の来客状況で推移している。個別にみると8月は6日営業で180人程度、1月は267名の来客で、特に各種のイベントが活況で、初級麻雀教室、笑いヨガ、毛糸帽子編み、大正琴・ハーモニカ・ギターと唄う、俳句などが人気がある。

注目しているのは、独居者の来店者が増えてきていることで、特に俳句の先生は独居者で、閉じこもりがちであったが、今は熱心に指導されている。

また、魚の骨の標本や写真など自分の趣味を店に展示される方も増えている。

サロンでのお世話係りの方も徐々に増えてきているのは心強く感じている。

つくし野や柏市布施新町地区の方の来店も増えており、“よりみちサロン”の目的が浸透してきているように思われる。

② 多世代間交流（子供会のクリスマスパーティ）

既に報告済の夏休みの宿題教室、絵画、絵手紙、工作、ラジオ体操に加えて、第2弾として、12月22日に三菱子供会主催の「クリスマス会」を後援し、他地域の子供会にも参加を呼びかけ実施した。36名の参加で、ふわどっち、

を大人も一緒に楽しんだ。第3弾として、障害者の活動支援団体「みんなのひろば「風」」のメンバー（15～16名）と地域住民の方とのスポーツ大会（40人程度）を計画している。

近隣センターの多目的ホールで、ふわどっち、オーバルボール、フロアホッケーにより心も体もリフレッシュしながら交流を進めたい。（案内チラシ配布）

③ 買い物支援

12月より「久寺家お助け隊」の新メニューとして、3名の高齢者の方に月1～2回の買い物同行支援を実施している。買物場所は全員が旧エスパだった。サポーターが7名の方に名乗り出て頂いているので、民生委員の方と協力して支援希望者を増やす方向で検討している。

④ 生活用品活用情報

近隣センターと「よりみち道サロン「風」」に掲示板を設置した。これまでに、自転車と囲碁盤の譲渡が成立した。引き続きPRして行きたい。

⑤ 講演会

「健康寿命」を延ばすことをテーマに、11月15日「老後の健康管理」、12月5日に「悪徳商法から高齢者を守る」、「マイナンバーカードの取り扱い」、「終活」の講演会を実施した。

〔その他の報告事項〕 まち協会長

○11月15日当近隣センターで、市内10か所のまちづくり協議会が一堂に会し連絡会が実施された。主要テーマは、地域会議モデル4地区の実施状況で、久寺家地区まちづくり協議会として、これまで2年間の経過・活動状況報告した。

当地区以外からは下記の報告があった。

- ・ 天王台北地区 地域5自治会長と、小学校、商店会を含めて地域防災について月1回会議を行っている。
- ・ 天王台南地区 環境保全、防災をテーマに自治会と会議を持っている。
- ・ 新木地区 事務局を立ち上げて会議参加団体を選定中。

○我孫子市による「地域会議の知名度調査」アンケートの結果報告

- ・ 地域総世帯824世帯、回答数471（回答率57.2%）
- ・ まち協認知度94%、地域会議認知度58%、まち協行事参加率53%
参加しない理由としては、面倒、きっかけが無い、健康上の問題などが多い一方、まち協活動は「一部の人がさわいでいる」等の意見もある。
より一層の、情宣・きっかけづくり等の活動が必要。

○アンケート調査から見た次年度で話し合っしてほしい事項（事務局での検討結果）

① レベル1 地域住民の交流活発化、高齢者の健康維持増進を高める施策

- ・ 新たな人たちとの交流
- ・ 高齢者の運動促進イベント
- ・ 高齢者と子供若い人との融合（大人、子供、女性まで参加できるスポーツイ

ベント等)

- ・ 関心はあるがなかなか参加できない人の、きっかけづくり。

② レベル2 ごみ問題への対応

- ・ 高齢者一人暮らし人のごみ当番負担軽減
- ・ ごみ出しルール徹底、カラス・猫対策

③ レベル3 防災対策

④ レベル4 自治会活動のなり手・若返り

⑤ その他

- ・ 高齢者の日常生活支援（久寺家お助け隊 PR、レベルアップ）
- ・ 障害者支援（障害者がおられる方への理解がない）
- ・ 働く母への支援（子供が急病になった場合、現状の市の制度では不十分）

(2) 子供会行事の共同開催（子供会とのコラボ：年間計画）

今後、まち協として「子供会」に対し、どういうことが出来るのか、何を期待されているのか等について話し合っていきたい。

○三菱子供会

三菱子供会として年間計画を作成しました。（独自で実施するもの、まち協全体で計画してほしいもの）なお、前年のクリスマスパーティの運営について、三菱子供会だけにまち協が支援するのは如何かというご批判もあった。

○二丁目子供会

働いている母親が多くまた世帯数も少ないので、子供会の役員になる頻度も多く負担を感じている人が多い。従って、新しいことをやると負担が増えて困る、今まで通りで、現状を変えたくないと言う意見が多いのが実情。

○マンション子供会

子供会の世帯数は5世帯で、役員の負担感は重い。管理事務所の2階フロアでクリスマス等の行事を実施している。

○久寺家子供会

働いている母親が多く、子供会の役員としての負担感は重たく感じている。現状を変えたくないという気持ちが強いのが実情。夏休み宿題教室の評価は高く良かった。ただスケジュールについてあまり前もって決まられてしまうとやり難い面があった。

○まち協会長

子供会の役員が行う内容としては現状通りだが、それぞれ独自にやるのではなく、全ての子供会が一緒に共同して開催するのは如何か。

○三菱子供会

4つの子供会の役員の皆さんが集まって、何を、どうするか内容について話し合うというのは難しいと思う。「まち協」に旗を振っていただき、子供会と相談して計画をし、各子供会に案内していただくという方法が良いと思う。

○三菱子供会

5月2日の新入生歓迎会について計画しては如何か。

○二丁目子供会

二丁目子供会では、年間行事として「あけぼの山公園」で昼食を一緒にしている。三菱子供会等と一緒にどうかという話が出ている。

○マンション子供会

5月2日の新入生歓迎会については、案内を出せば参加する者はいると思う。

○久寺家子供会

子供会として独自にイベントは計画していない。

○三菱子供会

まち協主催の「お茶会」を開催し、全子供会に案内するような計画をしてみてもどうか。

○まち協会長

年齢・学年を問わないかたちでのイベントを考えてみたいので、これからもどんなイベントが良いか意見を寄せて欲しい。

(3) みんなの広場「風」と一緒にスポーツ大会（多世代間交流の一環として）

○まち協会長

地域社会の多世代間交流の一環として、当地区にある障害者支援施設「みんなの広場「風」」の皆さんと一緒にスポーツ大会を企画した。

○理事長

我孫子市のスポーツ推進テーマにも、障害者のスポーツ推進が挙げられており、久寺家地区はそのモデル地区になっています。みんなの広場「風」では年間事業計画のひとつとして、3月11日スポーツ大会を企画した。

地域社会の皆さんに、障害者へのご理解を深めていただく意味も含め、障害者の方と一緒にスポーツを楽しんでいただければと思う。

運動は、ふわどっち、フロアホッケー等何方にでも気軽にできるもの。

このような活動は、久寺家地区を皮切りに我孫子市全体に広げて行きたいと考えている。

(4) 地域で抱える問題についての意見交換

○二丁目会長

ごみ出しに問題がある。動物被害防止のネットを設置する前に生ごみを出して猫やカラスの被害にあったケースがあった。

また、「生ごみ」の時に、一人では動かさないような大きなマットレスが置かれていた。該当地区で調査したが出した家は不詳で、やむなく自治会費用で処理を依頼したケースがあった。局外者が持ち込んだ可能性もある。

→総務部長 動物被害防止としてはネットのうえに「ブルーシート」をかけるのが効果的なようだ。

→施設管理部長 クリーンセンターに講習会を要請してみても如何か。

○三菱自治会

今年度の自治会会長、副会長の選任はくじ引きで決めた。会長の責任が重たいということで、この1年、手分け・分担して対応したがうまくいったと思う。一部防災パトロールの負担が重たいと言う意見があり、当番だけではなく一部ボランティアに依存という方法も検討する必要がある。

○久寺家自治会

自治会に入っていないアパートの住民（大学生）にルールを無視したごみ出しがあった。

○マンション自治会

自治会長の任期は2年、管理事務所があり専任の管理人を置き、自治会の事務的な仕事を分担している。

○民生委員

自治会の運営については、自治会役員の問題だけではなく、当番制でいつかは自分もその任に当たらなければならない。

そのため、各自が日ごろから、自治会の仕事について、どんな問題があり、どのように処理されているのか、どのようにすれば上手くゆくのか、自分なりに問題意識をもって考えていくことが、大事だと思う。

そのためには、いろいろの機会に自治会について話し合える風土を作ってゆく必要があると感じている。

(その他)

我孫子市から会議出席者に対し、地域会議に関するアンケート依頼があった。

以上